



©宮城県・旭プロダクション



セーフティ123通信

発行：宮城県・みやぎ交通安全啓発・実践キャンペーン実行委員会

「セーフティ123通信」は、交通安全キャンペーン「セーフティ123」の参加者を応援する情報誌です。

宮城県内を走るドライバーのみなさん！安全運転してますか？

事故事例から学ぶ安全運転 テーマ 「薄暗くて前がよく見えない」

【事故概要】

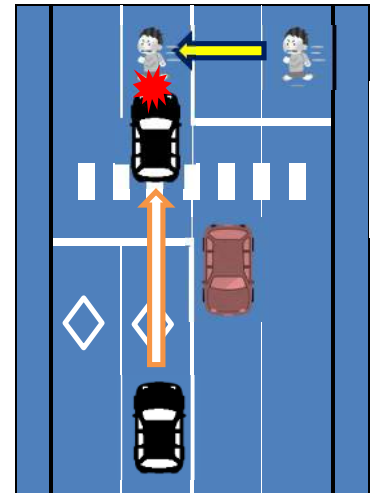
夕暮れ時に無灯火状態で道路を走行中、横断歩道外で道路を横断していた歩行者の発見が遅れ、衝突したものの。

ドライバー語録

「横断歩道があるのは分かっていましたが、横断歩道に人がいなかったんで、速度は落とさませんでした。」

「横断歩道を過ぎた瞬間、右側から横断してきた歩行者の姿が見えたので、慌ててブレーキを踏みましたが、歩行者とぶつかってしまいました。」

「薄暗くなっていましたが、いつも走っている道だし、このくらいの暗さなら、ライトを点けなくても大丈夫と思っていました。」



薄暗くなる前に「早めのライト点灯を！」

これから紅葉のシーズンへと変わるにつれ、日没の時刻も早まってきます。

いつもどおりの走りなれた道路でも日に日に暗くなる時刻が早くなると、車の運転にも様々な影響を及ぼします。

夕暮れ時は、ドライバーだけではなく、歩行者も同じように周囲が見えづらい状況になるため、車や歩行者の発見が遅れがちになります。

ドライバーの皆さんは、早めに歩行者を発見し、自分の車の存在を周囲に知らせるため、「早めのライト点灯」を心掛けましょう。また、「ライトはハイビームが基本」です。状況に応じてこまめにライトを切り替えましょう。



右から左へ横断する歩行者に注意！

これからの夕暮れ時は、帰宅時間帯と重なることで渋滞が発生しやすくなり、車の陰などからの急な飛び出しなど、至るところに危険が潜んでいます。帰宅を急ぐあまり、無理に交差点に進入する車や、横断歩道以外の場所を乱横断する歩行者もいるかもしれません。

薄暗い中では、特に「運転席から見て右から左へ横断する歩行者」を見落としやすくなるので、速度を控えめにし、より慎重な運転に努めましょう。また、歩行者の方も、道路を横断する時は、横断歩道を利用し、横断前にしっかり安全確認を行いましょう。

セーフティ123キャンペーンについて

- セーフティ123キャンペーンの実施期間は10月31日（土）までとなっています。皆さん、無事故・無違反の達成を目指して安全運転を心掛けましょう。また、実施期間が終わった後も、これまで同様に安全運転に努めてください。
- 実施期間終了後、1年以上の無事故・無違反を達成された方には「SDカード」が送付されます。SDカード優遇店で提示すると割引や優遇特典などを受けることができます。

【SDカード見本】

◎SDカードについてのお問い合わせ◎
自動車安全運転センター宮城県事務所
ご連絡先：022（373）7171



令和8年度夕暮れ時の交通事故防止運動について

夕暮れ時は、日没とともに視界が非常に悪くなるため、横断歩行者等の発見が遅れるなどの要因から交通事故が増加する傾向にあります。

ドライバーの皆さんは、夕暮れ時には早めのライト点灯とともにスピードを抑え、ハイビームとロービームとの切り替えを適切に行い横断歩行者等の早期発見に努めましょう。

また、夜間帯は、運転者から見て「右から横断してくる歩行者」を見落としやすくなります。左側の照明や看板などに気を取られないよう、右側の安全確認を意識しましょう。

歩行者の皆さんは、外出時は明るい目立つ色の服装を着用し、反射材やLEDライトを活用しましょう。また、道路を横断するときは横断歩道を利用し、横断前には十分に左右の安全確認を行いましょう。



運動期間

令和8年10月1日(木)から令和8年1月31日(日)まで

☆ 運動の重点 ☆

- ① 早めのライト点灯の推進
- ② 「ライトはハイビームが基本」の周知と実践
- ③ 反射材用品やLEDライトの活用
- ④ 歩行者の交通ルール遵守と正しい横断方法の実践

◎ 「ラ・ラ・ラ」運動 ◎

- ライト・オン ～ Light on ～ （ドライバーは、早めのライト点灯）
- ライト・アップ ～ Light up ～ （歩行者は、明るい衣類・反射材用品等の活用）
- ライト・ケアフル ～ Right careful ～ （ドライバーは、前方右側からの横断歩行者に注意）